



第47回東北地区支部消防救助技術指導会の開催について

7月25日(水)に一般財団法人全国消防協会東北地区支部の主催により、第47回東北地区支部消防救助技術指導会が開催されます。本指導会は、新潟県を含む東北地区7県の各県支部を代表する救助隊員が一堂に会して救助技術を競い合うものです。新潟市での開催は18年ぶりとなります。

上位の成績をおさめた救助隊員は、京都市で開催される全国消防救助技術大会(8月24日)に出場します。

記

- 1 日 時 平成30年7月25日(水)
午前9時30分から午後3時30分頃まで
- 2 場 所 新潟市中央区鐘木257番地1 新潟市消防局訓練場
- 3 出 場 者 新潟県を含む東北7県から選考された救助隊員約300名
- 4 次 第 別紙のとおり



【担当・問い合わせ先】

新潟市消防局企画人事課 高橋、渡辺

電話：025-288-3210

FAX：025-288-3215

E-mail：kikaku.fb@city.niigata.lg.jp

指導会次第

(1) 開会式

09時25分	隊員	入場
09時30分	開会	宣言
09時31分	黙	とう
09時33分	国旗	掲揚
09時35分	あい	さつ
09時40分	来賓	祝辞
09時45分	来賓	紹介
09時50分	審判長	指示
09時55分	隊員	宣誓
10時00分	隊員	退場

(2) 訓練進行次第（時刻は予定です）

	訓練種目	実施時間帯
1	障害突破	10:20~14:10
2	引揚救助	10:30~12:30
3	ロープブリッジ救出	12:40~13:50
4	技術訓練	14:30~14:50

(3) 閉会式

14時55分	隊員	入場
15時05分	表	彰
15時15分	講	評
15時20分	国旗	降納
15時25分	閉会	宣言
15時30分	隊員	退場・解散

1 障害突破

5名1組で4名が高層を乗り越えビルに上り、ビルからビルに渡り、さらにビルから降下し、最後に地下街の煙中を検索して脱出するもので、その安全性・確実性とあわせて所要時間が評価されます。

2 引揚救助

地下街やマンホール等の深い穴の中で事故に遭った人を救助するもので、5名（要救助者含む）1組で2名が空気呼吸器を着装して出発点（塔上）より降下し、検索後、要救助者を抱きかかえて搬送し、他の2名と協力して塔上へ引揚救助するまでの安全性・確実性とあわせて所要時間が評価されます。

3 ロープブリッジ救出

一方の塔を被災建物の屋上、他の塔を直近の建物とみなし、4名1組（内1名は要救助者）で、塔の一方に用意された用具を使い、対面する塔との間に設定されているロープブリッジにより、2名が渡過進入して要救助者を救出し、進入した2名が脱出するまでの行動過程での安全性・確実性が評価されます。

4 技術訓練

災害の複雑多様化に伴う救助技術の高度化に対応することを目的として実施する訓練です。山岳地での転落事故などを想定し、5名1組で要救助者を救助するものです。救助資機材を効果的に活用した、迅速・的確な救助技術を実施します。